

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年12月21日更新

事務事業名		スポーツイベント開催事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政策	3	教育の健康				所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	飯開 輝久雄	
	施策	11	生涯スポーツの推進				所属課	生涯学習課	担当者名	松山 美咲	
	施策の柱	40	スポーツの啓発と参加機会の提供				所属班	スポーツ振興班	(内線)	1508	
予算科目		会計一般	款10	項6	目1	事業連番10772	根拠法令	スポーツ基本法			
終了、開始年度		☐ 2年度で終了 ☐ 2年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)				

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	スポーツ推進委員主催として、6月に各区対抗ニュースポーツ大会、10月にスポーツフェスティバル、翌1月に健康カントリーマラソン大会、3月の春ウォークラリー大会を開催。10月のスポーツフェスティバルでは、体育の日を中心に合志市体育協会加盟の各種目協会等の主催での大会も実施。
【業務の流れ】	◆年4回実施するイベント開催まで 推進委員会にて大会概要について決定→回覧・各戸配布にて各区体育部長等への参加呼びかけ→備品の準備→会場の準備→大会の開催→片付け→推進委員会にて振り返りと反省
【主な予算費目】	時間外勤務手当、休日勤務手当、報償費、消耗品費、役務費、燃料費、印刷製本費、委託料、使用料および賃借料
【意見や要望】	◆スポーツフェスティバル ・共催された体育協会種目協会からは、開催場所が無料になる、広報等を市が行ってくれるなどメリットが大きいという意見がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)		3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
・例年6月に各区対抗ニュースポーツ大会、10月にスポーツフェスティバル、1月に健康カントリーマラソンを開催しているが今年度は新型コロナウイルスの影響により中止。3月春ウォークラリー大会を実施(65人参加)。 【基準に達しなかった理由】新型コロナウイルス感染拡大防止により中止となった大会の代替イベントを検討していたが、実施できなかったため。		・6月に各区対抗ニュースポーツ大会、10月にスポーツフェスティバル、1月に健康カントリーマラソン大会、3月の春ウォークラリー大会開催を予定。10月のスポーツフェスティバルでは、体育の日を中心に市内の各種目協会等の主催での大会も実施。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア 参加者数	人	マラソン大会消耗品(参加賞、ゼッケン)の減	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・市民および市内在勤者	人	→ ア 市民及び在勤者	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	
・市民、在勤者の健康増進、親睦融和を図る。	%	→ ア 参加率	
*③成果指標設定の理由と 3年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
・市民の健康増進と親睦を目的としているので、できるだけ多くの市民が参加することが望ましいため。また、健康と親睦は数値化することができないため。			全体計画 ~ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	30年度実績(決算)	31年度実績(決算)	2年度目標(当初予算)	2年度実績(決算)	3年度目標(当初予算)	4年度予定	5年度見込	6年度見込
① 活動指標	ア 人		1,321	1,260	1,500	65	1,500	1,500	1,500	1,500
	イ									
	イ									
② 対象指標	ア 人		62,343	62,707	62,500	62,707	63,000	63,500	64,000	64,500
	イ									
	イ									
③ 成果指標	ア %		2.1	2	2.4	0.1	2.4	2.4	2.4	2.4
	イ									
	イ									
投 入 費 用	財 源	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	268	398	580	20	485	700	700
		繰入金	千円							
	入 費	一般財源	千円	2,170	1,174	1,326	65	1,368	1,300	1,300
		(A) 事業費計	千円	2,438	1,572	1,906	85	1,853	2,000	2,000
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人 件 費	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	5	5	5	5	5	5	5
		延べ業務時間	時間	1,634	1,654	760	1,020	1,000	1,000	1,000
	費 用	(B) 人件費計	千円	6,441	6,554	3,027	4,021	3,984	3,984	3,984
		トータルコスト(A)+(B)	千円	8,879	8,126	4,933	4,106	5,837	5,984	5,984

事務事業名	スポーツイベント開催事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 2 年度の後評価、ただし複数年度事業は 2 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2 年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 新型コロナウイルスの影響により春ウォークラリー以外のイベントが中止となったため、達成しなかった。
	② 3 年度目標達成見込み	☐ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☒ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 新型コロナウイルスの影響により開催可能かどうか現時点では不透明だが、開催が決定した際には、各区への参加依頼を継続していく。また、共催種目大会については、期日が重ならないように早めに期日の決定を種目協会へ依頼する。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 共催種目協会の大会は、期日の調整を早めに行うことで参加者が増える可能性がある。市主催のフェスティバルは、毎年参加している区では参加者が増える傾向にある。まったく参加しない地区が多いため、それらの地区が参加するようになれば、参加者が増加する。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある⇒（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 平成 27 年度から類似事業を統合し、事業を進めている。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 類似する他事例を統合し、必要経費の削減に努めた。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 類似する他事例を統合し、人件費削減に努めた。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 各種目団体で行われる大会についてはそれぞれ参加費を徴収されているが、市の開催事業分については市民誰もが無料で参加できる大会となっており、公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 役割分担は適正である ⇒【理由】 各種目団体の大会運営はそれぞれの団体に完全に移行しているが、各地区にスポーツイベントのリーダーができれば、役割の移行ができる。

3 評価結果の総括（CHECK）

開催時期である 10 月には多くの大会が予定され、場所の確保・各団体の調整が必要である。また、参加賞などの無駄がないように、早めの募集等が必要である。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

<